

「私の毛糸は赤くて長い」with たなか沙羅

契って 遊んで 繋げて また1周廻る
染めても 染めても 地の色 透けて変わらない
しぶとく続くよ 糸が燃え尽きるまで
燃え行く火の色 誰かが赤色だと言った
私に見えるのつまらん鈍いくすみが
だけど まどろみ ぼやけて 灯り顔に落ちてく
朝は無駄に過ごすの いまは何故寝るのを惜しむ

一日 繋ぎ目「1」「0」 はじまりは
どちら 泥道雨の日
消えない散るまで消せない
小さく瘦せても 煙くて 臭くても 待つんだ
冷えてる生き物 近くに居るやもしれん
暇な夜には 皆で囮んで朝のカリヨン
代わり映えしない日 めらめら大きくなつてく

赤色 ひろげて か細い糸終わりに向かう
はずだよ終わるのまだかな 次の球が来る
持ちきれなくて使い道分からない
目的なくても それでもただ繋いで
そうだ今度はなれないことをしてみよかな
うまく増えない編めない 火にくべよかどおしよ
悩ましいどおしよ 思うよにどうにもならぬー

やめるかやめんか ずるずるやめらんない
だからメラメラのびのびスクスク育つてくのね
いつまで飽きないこれからも永遠に
きっと全てが燃え尽きそうな時がくるのね

いつか知れない 知れやん
まあ気長に来るの 気まぐれに待ちましょう
あくる日は踊りましょうか
暖か燃えてる何かもある事ですし